

南砺市北野公民館

◆事業の目的

城端地域に伝わる国の重要無形文化財の曳山祭の成り立ちや歴史への知識の深化と祭への参加を目的に曳山組立見学会及び山宿スタンプウォークラリーの実施。
城端むぎや祭への参加と踊りの伝承を目的とし、秋のむぎや祭りの踊り手募集と踊り体験学習を実施。

◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
5月 4日 (水)	曳山組立見学会	城端東下町 山蔵前	40名
5月 4日 (水)	山宿スタンプウォークラリー	城端地域 山宿周辺	85名
5月 25日 (水)	むぎや祭 踊り手公募	城端地域 広報配布 小中学校 広報配布	
9月 月上旬～	むぎや踊り体験学習	城端地域 9団体 各練習場所	384名
9月 17日 (土) 18日 (日)	むぎや祭 参加	じょうはな座・善徳寺境内 街並み踊り箇所等	

◆事業の様子

☆ 曳山組立見学会



☆ 山宿スタンプウォークラリー



☆ むぎや踊り手公募・むぎや踊り体験学習



◆事業の成果と課題

地域で子どもを育てるにあたり、5館連携で地域を越えた交流が出来、また他団体との連携により、曳山祭やむぎや祭りを地域全体で盛り上げるという機運が高まった。曳山組立見学会、スタンプラリーでは、山町の児童、保護者だけでなく地域全体の児童や保護者の世代にも曳山の成り立ちや歴史の一端を知ることとなり、大変良い機会となった。むぎや祭りの踊り手公募、踊り体験学習では、熱心に指導していただき、祭りにも堂々と参加し、地域全体で祭りを支えていかなければという思いが一層増したように思われる。少子高齢化の中、後継者育成、伝統芸能継承の為、従来の手法だけでなく地域全体で取り組まなければならない。今まで、関心の薄かった人たちのふるさとへの興味・関心を強める意味でも、今後は地域全体でふるさと教育の推進に努めていかなければならない。